

管殖第55/出
19.10.20
内務省管理局

供覽

昭十九年度 管殖第五一號電報照會

事務官

農商

内務省管理局 技

師

嚮導農家招致ニ關スル件

「對十月六日附管殖第五一號電報照會」

昭和十九年度ニ於テ山形縣ヨリ招致スベキ嚮導農家ニ關シテハ別紙
計畫ニ依リ且下山形縣當局ト交渉中ニ付御諒知相成リタシ

朝鮮總督府

（Faint vertical text, likely a list or detailed report content, mostly illegible due to fading and bleed-through from the reverse side of the page.)

日本標準規格 B4 (264×357mm) 太平堂製

研-0653

0110

昭和十九年度指導農家招致要綱

(昭和一九九朝鮮總督府)

資質優良ナル内地人農家ヲ朝鮮農村ニ招致シ營農、生活ノ實際ヲ躬ヲ以テ垂範ヤシムルハ皇國農民運確立促進上極メテ緊要ナルノミナラズ農業増産上裨益スル所洵ニ妙カラザルモノアルヲ以テ左ニ依リ此等農家ヲ招致セントス

一 招致確定地及戸數

十八年十一月五日

忠清北道鎮川郡鎮川面

一〇戸

山形縣

忠清南道瑞山郡仁旨面

一〇戸

慶尙北道尙州郡尙州邑

一〇戸

二 招致時期

昭和十九年十一月末日迄ニ一切ノ準備ヲ終了シ一月末日迄ニ農家ヲ招致スルモノトス

三 招致準備

(イ) 家屋(母屋)ハ國庫及道費補助ニ依リ郡農會ヲシテ建設ニ當ラシムルモノトス

(ロ) 附屬建物及設備ハ納屋、畜舎、井戸)等ハ原則トシテ嚮導農家

自己資金ヲ以テ建設ヤシムルモノトス

(ハ) 農地ハ道ニ於テ自作農制定ノ方法ニ依リ購入斡旋スルモノトス

(ニ) 林野、草ハ郡農會ニ於テ購入斡旋スルモノトス

(ホ) 家畜及農機具ニ付テハ必要ニ應ジ別ニ助成方考慮スルモノトス

(ヘ) 部落共同作業所及倉庫ニ付テハ一〇戸當一棟トシ約ニ〇〇〇〇

○ 補助成金ノトス

四 嚮導農家ノ經營規模

招致農家ハ一〇戸ヲ以テ一團トナシ經營規模ハ嚮導農家ノ通トス

田 自作 一町八反

田 自作 七反

林野 二町

計 三町五反

五 嚮導農家ノ資質

嚮導農家ハ自家勞力ニ依リ實際ノ經營ヲ通シ近隣農家ヲ嚮導シ得ル者ナルコト

六 一戸當入植當年ノ助成額

種目	基本員數	所安金額	所安金額負擔方法	家
家屋(母屋)一棟 建築費坪當 三〇〇圓	一五坪	四五〇〇圓	三三〇〇圓	八〇〇圓
役機具及作樂及調製用 畜機具 一〇〇〇圓 役機具 三〇〇圓		四〇〇圓	二八〇圓	一〇〇圓
生活費 一月ヨリ 六月迄六ヶ月間 一箇月約 七〇圓		四〇〇圓	二二〇圓	一〇〇圓
旅費		一〇〇圓	一〇〇圓	
管理費		一〇〇圓	一〇〇圓	
計		五七〇〇圓	三三〇〇圓	九〇〇圓

七 耕地、林野、宅地等ノ經營及農家員

0112

種目	面積	積算	償還	同上有償	通算
宅地	100坪	300	300	300	300
林野	100	100	100	100	100
田	100	100	100	100	100
計		6500	3450		3050

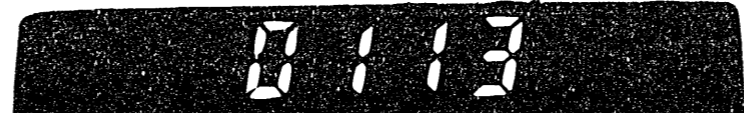
農家負擔額ハ一年據置十九箇年ヲ以テ年賦償還スルモノトス
 償還額ノ半額程度ハ道又ハ協會ニ於テ處辨シ地方農家ノ負擔ヲ軽減ス
 ルヤウ措置スルモノトス

八

家屋、納屋、番舎、林野、宅地等ニ安スル資金ニシテ自己資金ノ支出
 困難ナル場合ハ同一部落ニ集積入植セルモノノ組合組織等ヲ利用シ金
 融組合其ノ他關係該箇ヨリ低利資金ノ借入ニ付斡旋ヲ爲スモノトス

九

作物名	作付面積	反稔高	總收穫	反當單價	收入總額
水稲	18	35斗	630斗	27圓	17010圓
大豆	6	5斗	30斗	28圓	11400圓
計	24				19360圓



丙

管第 五五一 號

案起 昭和十九年十月五日

施行 月 日

主任

管理局長

租務課長 昭十九年十月八日

事務官

技師

電報 葉(多志)

局長

農商局長宛

山形県 農家通格者トシテ十五戸決定

近日 農家 昭十九年十月五日

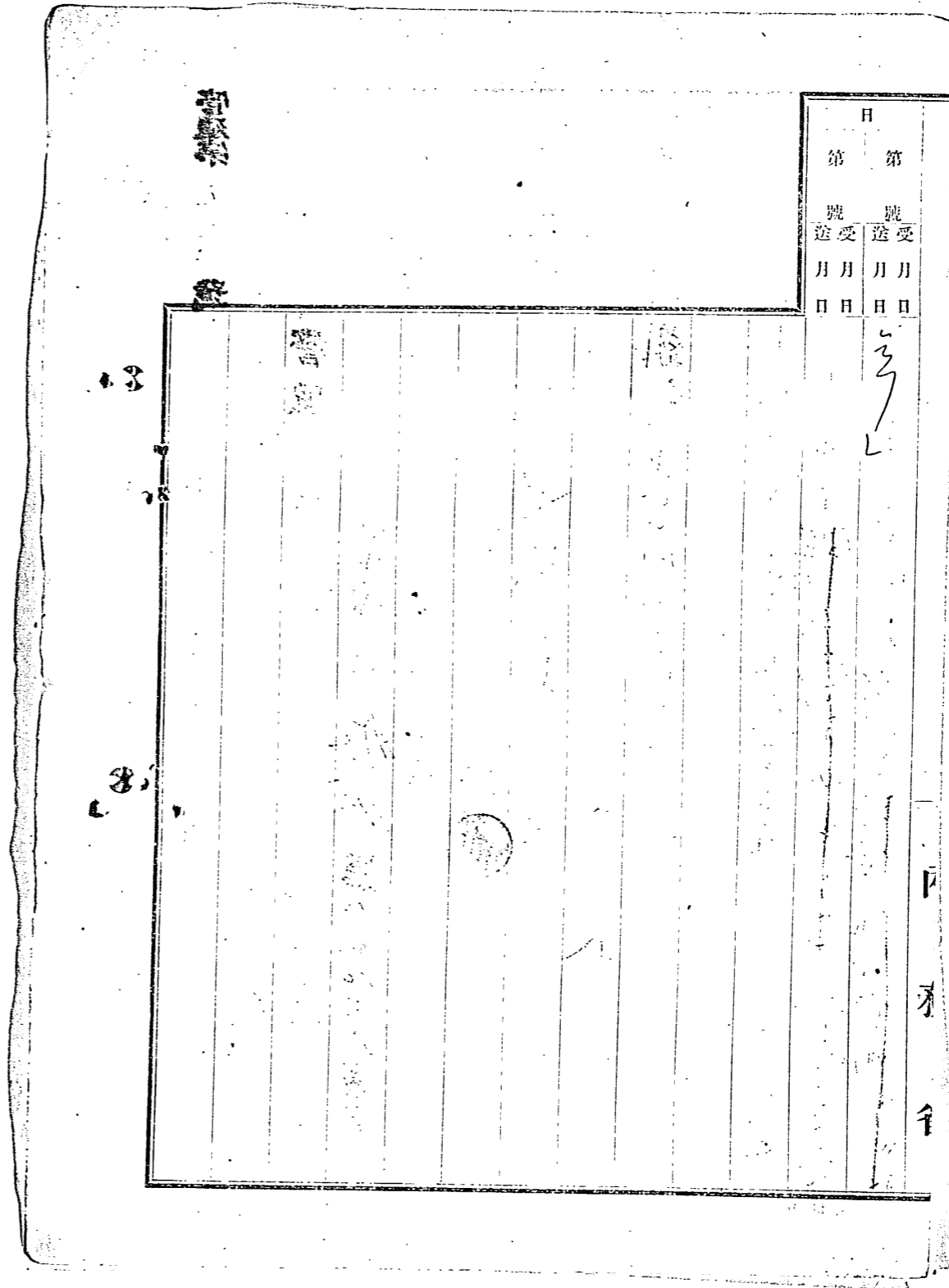
了知 昭十九年十月五日

合 議 局 號 及 受 送 月									管 理 局 號 及 付 日		
第 一 號	第 二 號	第 三 號	第 四 號	第 五 號	第 六 號	第 七 號	第 八 號	第 九 號	第 十 號	第 十 一 號	第 十 二 號
送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

規格 B5

研-0653





日	
第	第
號	號
送	送
月	月
日	日

3
7
L

1
1
1

研-0653

0115

丙

管第 五五〇一 號

案起

昭和十九年 十月 五日

主任

管理局長

昭十九年十月五日發送済

殖産課長 佐々

事務官

技師

文書課長



管理局長

決意 必知奉究

朝鮮總督府農林部招致ニ関スル件

首題 件ニ関スル 格別 申高配ニ依リ 五ノ適格者

決定 近日貴院出発ノ趣了承、十月五日電報ニテ

月 送 受 及 號 局 議 合									日 月 付 受 及 號 局 管
第	第	第	第	第	第	第	第	第	管第 五五〇一 號
號	號	號	號	號	號	號	號	號	
送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	
月	月	月	月	月	月	月	月	月	案起
日	日	日	日	日	日	日	日	日	昭和十九年
									十月
									五日

規 格 B 5

省 務

研-0653

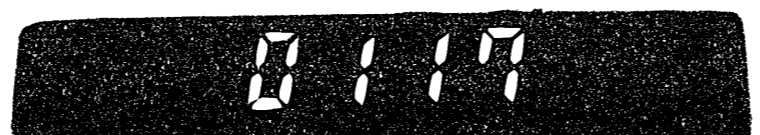


日	第	第
送	號	號
受	送	受
月	月	月
日	日	日

印申越一運賃引及證以書各三十枚送付
 候係印並收相公以此及回報候也
 正印在道格者危持所也送付相公申候也

印申越一運賃引及證以書各三十枚送付
 候係印並收相公以此及回報候也
 正印在道格者危持所也送付相公申候也

研-0653



大日本帝國政府

電報要領

(一九一〇年五月)

(國定規格B11×25×75)

農務省 山形縣 務理

度記名 止

本年朝鮮へ送付(送付)ノ總額(總額)農務省十五ノ一(一)月十日頃(一)月十日頃(一)月十日頃

冬(冬)ノ中(中)朝鮮(朝鮮)總督府(總督府)在(在)京(京)ノ務(務)所(所)長(長)ニ(ニ)照(照)會(會)シ(シ)テ(テ)送(送)付(付)ス(ス)ル(ル)日(日)江(江)岸(岸)邊(邊)ノ(ノ)額(額)ニ(ニ)關(關)シ(シ)テ(テ)置(置)キ(キ)テ(テ)

研-0653



大日本帝國政府

寫

電報 敬文 (一九三二年)

台灣 農務 課長

田中 敬平 殿

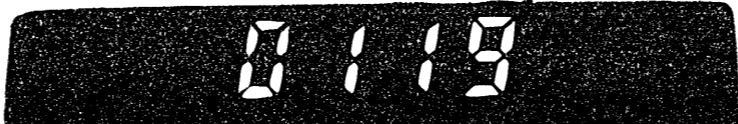
香川 勉 尊 集 既 一 着 手 進 行 中 也 應 務 者 下 心

務 甲 致 公 事 取 止 公 事 下 心

(三月廿四日、台灣巡視使、敬文、田中、敬平、殿、一、着、手、進、行、中、也、應、務、者、下、心、
台灣農務課長、敬文、田中、敬平、殿、一、着、手、進、行、中、也、應、務、者、下、心、)

國定規格B5(148x257)

研-0653



大日本帝國政府

寫

要報 論文

(一七三三三)

台灣、農務課長

田中政平殿

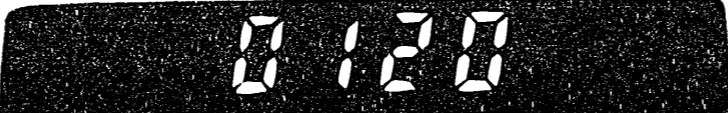
農業移民事件

時局ノ緊迫ニ伴ヒ内地ヨリ移民ヲ渡台セシムル事ハ海上ノ
 一危險ニ加重スルコトヲ輸送 糧糶ノ拮据困難ナルニ懸ク
 此際渡台ヲ見念ヒシニトテ本島スル余地アリシ既ニ既ニ
 墾定シタルニテ中止スルニトテ可成クヤ折衷シテ要了スル
 田中政平殿ヨリ電

現ニ墾定タル移民ノ家數總數ヲ及ビ西航ヲ停メ居ルニ懸ク
 中止ニテトテ不可成クヤ折衷シテ要了スルニトテ改テ

(要報) 台湾、農務課長ヨリ
 田中政平殿ヨリ電

國定規格 56 × 76 厘米



昭和十一年

三ノ宮市川町

臺灣渡航農業移民乗船者名簿(第二次)
(年齢一九年現在満才年齢ナク)

共 五 號

現任所	姓名	年齢
松山市新玉町二丁目二十六番地	相原繁一	五五
	夕ヨ不	五五
	米 広	五六
	千代子	一四
	鐵 男	一四
	文 子	一四
	美重子	一八
	晴 子	一八
	伊三郎	四二
	三郎	六六
松山市小栗町五ノ七番地	ユキミ	六六
	ハジメ	三八
	千代子	一九
	馬 淵 森一	五〇
	ツ 不	四二
	勝 光	一五
	益 明	一三
	益 味	一三
	晏 委	一六
	洗 江	三六
松山市新玉町二丁目二十六番地	野政高	三〇
	サトル	二七
	宏 子	四七

東京 三四三七

日本標準規格 B5判4番 257×364mm

研-0653

0124

小
二
一
中
止
宋
四
候
録

					臺灣總督府					岡山縣児島郡興除村大字東時八番地				
										藤井千賀雄				
					ハル					四				
					義久					三				
					久栄					一				
					徳子					一				
					健太郎					二				
					知恵子					八				
										五				

引
年
志
の
由
に
由
り
合
計
三
一
名

東京三四三七

日本標準規格 B列4番 257×364mm

共第五號

研-0653

0125

供託

昭和十九年二月七日

臺灣總督府農商局農務課長 松野幸

内務省管理局殖産課長 殿

殖産課長

作

華分官花

農政第一六七號

臺灣農業移民ニ關スル件



時局下事務御繁忙ニモ不拘本島農業移民ノ募集並ニ輸送ニ關シテ

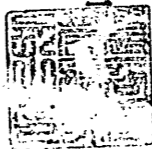
ハ格別ノ御高配相煩居候段深謝ニ不堪候

今後共何分御援助相願度

右及御禮等々依頼候也

師

1



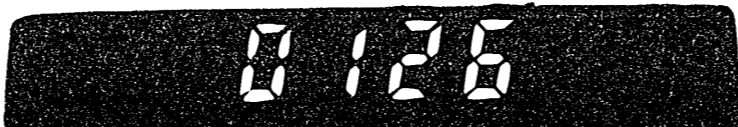
移

臺灣總督府

日本標準規格 B5 (182x257)

昭和十八年十月四日設置

研-0653



丙

管領第八二號

起

昭和十九年一月二日

主任

管理局長

殖産課長

事務官

理事官

兼

管理局長

海運總局海運局長
兼
航運空會理事長

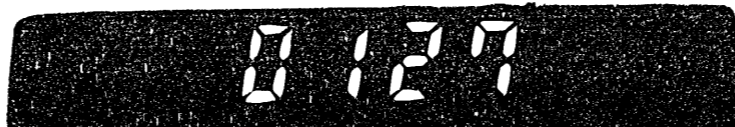
台灣農業移民及拓土道場生業課長

首題一件二四三三號
附
三十五日附農農券一六三三号以下

合議局及受送月									管領第八二號
第	第	第	第	第	第	第	第	第	起
號	號	號	號	號	號	號	號	號	案
送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	
月	月	月	月	月	月	月	月	月	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	
									昭和十九年一月二日

規格 115

研-0653



日	第
送	號
月	送
日	月
	日

台湾總督府農商局長より直接仰依頼設置
 候也如右道場生一輸送ニ付テハ特設ノ仰高配
 ニ依リ船便決定致シテ過般米内地ニ於テ莫ク
 兼中一農業者民ニ就テハ現在確定ノ十七戸
 ハ二月下旬迄二月下旬陸衝中ノモハ三月下旬迄
 ニ大々函台セシト云意何ニ有テ候條之ハ輸送方
 一割ニ之^(運送)格別ノ仰既意相増至此段及依頼候
 進一近日係管ヲ脱以ノ公出頭被致可テ仰念置相成テ
 申候

案一二(般定)

局長

農商局長宛



大日本帝國政府

農務大臣及拓土道場生ノ輸送ニ関スル件

(國定規格B5(25×35)用紙)

前題ノ件ニ関シ一月二十日農務大臣及拓土道場生ノ輸送ニ関スル件
 知事及道場生(二十六名)ニ就テハ既ニ般便決定シ一月末
 東京出發日下宇部ニ於テ乘船待機中ニ有之尚農
 業移民ニ就テハ既在十七日確定二月下旬増進ニ法台ニ
 心付三對輸送方ニ付關係方面ト交渉中ニ有之候然レニ右
 十七日ノミテハ既定ノ輸送一此ノ過十人トシテ貴府係館ト協
 議上改メテ有者係館ヲ廣係村外ニ出張セシメテ定
 知一確保ニ努メタキ所存一有之候係館下知州或否候

研-0653



供覽

昭和十九年一月二十五日

臺灣總督府農務局長 領田 一三三

理事官
內務省管理局長 殿
事務官



19. 1. 29

殖産課長

農務第一六一二號
此件係由本署所屬之農務課長所發之件。其要旨如下：
農務課長及殖産課長、關於農務生搬送之關係、其目的、
時局下本島開拓之條件、食糧増産、國土防衛ニ資スルモノ、目的、
爲ノ内地人農務移民及南方農林資源開發要員ヲ、殖産課長生搬
送ニ内送ニ於テ之ヲ募集中ノ庶後者ハ既ニ人選了リテ農務待期
中ニシテ、前者ハ近ク人選了リテ農務待期ニシテ、農務待期
終了ハ殖産課長生搬送ニ對シテハ、農務待期及作物栽培指導上、農

臺灣總督府

日本標準規格 B5 (182x257)

農務移民ニ就キテハ作物時期ノ關係上何レモ二月下旬迄ニハ農務
待期ニ付農務待期下輸送關係不圓滑ノ折柄恐縮ニ存候モ右事
情御瞭解ノ上何分ノ御高配相願座
右及依願候也

追而本件ニ關シテハ當方ヨリ大廳屬託（移民關係）及中山道
場長（道場關係）ヲ出張セシム可ク候條御配意相願座申渡候

協同院 依以送完令 協同院 依以送完令

臺灣總督府

日本標準規格 B5 (182x257)

昭和十八年九月九日

愛知縣東春日井郡小牧町三三二七	全上	總積銀一	總積五三男一九
岐阜縣吉城郡上宝村吉野一六七八	全上	西野初清	西野裕方一八
岐阜縣高山市上一元町九	全上	牛丸善左門	牛丸浩一
岐阜縣郡上郡嵩田村大字上田六七	全上	長谷部佐多	長谷部勉一八
岐阜縣稲葉郡黒野村洞八三〇一	東京都駒込富士前町六	竹越銀四郎	松井昭一九
岐阜縣稲葉郡横原町伊吹一六六九	全上	小林栄吉	小林修一八
岐阜縣養老郡收田村大字收田一二七	全上	高木実高水	博一九
三重縣一志郡家城町大字南家城九五九	全上	松森久次郎	松森英志一九
三重縣一志郡久居町大字本村甲二〇六七	全上	山出藤次	山出文夫一九
福井縣吉田郡東藤島村泉田二五号ノ二	全上	清水清範	清水重範二〇
石川縣石川郡笠岡村字笠岡ル二五	全上	村田和吉	村田泰則二二

千葉縣銚子市小畑町下六八	全上	國根忠七	國根賢三二〇
千葉縣印旛郡布鎌村酒直一三三	全上	鈴木求司	鈴木護一七
新潟縣北蒲原郡葛塚町大字前新田九二	全上	水田西次	水田三郎一八
長野縣下伊那郡上久堅村四四三五	全上	岩村文久	岩村秋雄一九
長野縣東筑摩郡上川村光甲三六八	長野縣下伊那郡神指村田村	小林定衛	小林衛一九
長野縣東筑摩郡中川村二五二六	全上	石田村徳	石田利雄一九
長野縣松本市大字筑摩四七七	全上	山田善興	山田実一九
長野縣東筑摩郡本郷村沢回五〇七	全上	二本玉恵	二本慎夫一九
長野縣下水内郡豊井村大字豊井三三三二	全上	丸山鶴吉	丸山丸雄一八
山梨縣市川町小保村八四	全上	前島豊作	前島善廣一九
静岡縣浜名郡長上村下石田三三二	全上	伊藤隆平	伊藤喜重郎二〇



京都府相模郡笠置町大字笠置小字中通八	全上	喜多登美	喜多政次	一九
奈良縣宇智郡北宇智村大字近内六一	全上	中谷種一	中谷源	一九
和歌山縣那賀郡三屋川村大字長連寺四	全上	小林安太郎	小林增男	二〇
兵庫縣多紀郡古市村油井四三五	全上	福西久之進	福西勝	一九
兵庫縣津名郡石村中廻四五一	全上	末馬欽吾	末馬秀男	二四
香川縣綾歌郡昭和村大字畑田一四五	全上	伊賀市良	伊賀哲市	一九
愛媛縣伊豫郡南伊豫村大字上三谷三八八	全上	水口保正	水口勇	一八
愛媛縣東宇和郡石城村大字郷内二二三	全上	宇都宮彌七	宇都宮陽吉	一九
鳥取縣西伯郡大和村大字中岡四四四	全上	竹中清竹	竹中喜雄	一九
鳥取縣西伯郡御来屋町九〇九ノ三	全上	金田紋一	金田重治	一九
鳥根縣出雲市江田町一〇一	全上	柳染米太郎	柳染永吉	一九
鳥根縣簸川郡國富村字美談一〇七	全上	鳥根縣簸川郡六社町西懸三三三代房子	三代明	一九
鳥根縣海士郡治士村大字崎一六四九ノ二	全上	元上栄三郎	元上竹松	二〇
鳥根縣伊賀郡江津町字喜久志	全上	田中梅芳	田中孝人	一九
岡山縣児島郡藤田村都三三二ノ一	全上	守屋長治	守屋晴巳	一九
広島縣芦屋郡大正村系水五六七	全上	赤坂密行	赤坂明	二一
広島縣山縣郡土生町字土生一三〇七	全上	岡野勇	岡野壽郎	一九
山口縣吉敷郡小箱村大字上小箱一四一五	全上	和西寅之助	和西孝友	二〇
福岡縣若松市大字竹並四四三	全上	宮野一之助	宮野用平	一八
福岡縣飯塚市本町一三二六	全上	伊藤篤三郎	伊藤洋	二〇
山口縣玖珂郡米川村大字西長野二九六	福岡市	宮本久十	宮本正式	一九
福岡縣若松市大字竹並一五八	全上	高崎又四郎	高崎広光	一九

福岡縣筑紫郡日佐村横手一六〇	全上	徳永貞一	徳永高夫	一九
大分縣南海郡那珂畑村大字細田	全上	荒牧縣吾	荒牧英一	一四
佐賀縣佐賀郡東與智村大字飯盛一五二	全上	深川 保	深川忠治	一九
佐賀縣佐賀市赤松町九八	全上	迎 初枝	迎 信保	二〇
佐賀縣三養基郡基山町大字小倉一三七九	全上	梁井貞吉	梁井三男	一九
佐賀縣三養基郡麓村山浦一三五〇	全上	内田和三郎	内田和永乙	一八
熊本縣天草郡楠浦村六三一	全上	浦上留次郎	浦上文雄	一九
熊本縣阿蘇郡内牧町三九五	全上	宮本 操	宮本 知	二〇
熊本縣阿蘇郡内牧町三三五	全上	佐藤代一	佐藤昭二	一八
宮崎縣南那珂郡吾田村大字高一九四	宮崎縣南那珂郡吾田村里松四七門川傳	門川利男		一九
宮崎縣南那珂郡北郷村北河内書野四八六	全上	大和一夫	大和一義	一九

宮崎縣南那珂郡吾田村大字隈谷甲一三六	全上	山崎卯吉	山崎貞雄	一九
新竹州中坊郡觀音左觀音六九	全上	王徐氏菜妹	王 秀	二一
台南州斗六郡斗六街潘子根一六七	全上	林清山	林 喬	二四
朝鮮慶尚北道慶州郡慶州邑西郡里一七	全上	松川晴亮	松川晴信	二五
以上合計				七二名

第584号
18.10.1
内務省管理向

供覽

昭和十八年十月二十九日

總督府殖産局農務課長 松野 孝

殖産課長 依後 事務官

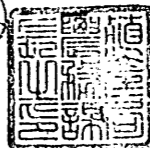
内務省管理局殖産課長殿

理事官

農政第一一八四號ノ二

農業移民募集ニ關スル件

昭和十八年九月二十三日殖産第二六七五號ヲ以テ御依頼致シ置キ
候農業移民募集ニ關シテハ特別ノ御配慮ヲ相煩シ居リ誠ニ深謝致
シ候就テハ御参考迄ニ移民募集計畫書一部送付致シ候條宜敷御取
計相願度
右及依頼旁々通知候也



臺灣總督府

日本標準規格 B5 (182 x 257)

昭和十七年十二月九日印刷

研-0653

0137

第一 移民收容地域 (一〇〇ヶ所)

左ノ地域ヲ農業移民收容地域トス

○名中州北斗郡下濁水溪新生地ノ一部

甲地域約一四九四甲

○名中州北斗郡溪州左下霸

○名中州北斗郡北斗街 東北斗

乙地域約四九三甲

○名中州北斗郡ニ林庄外 奮子脚 子 柳子溝

○名中州員林郡溪湖庄西勢厩田中央

○名中州員林郡埔塩庄石脚 外 鼎金

臺灣總督府

本移民地ニ建設スル移民村中甲地域ニ建設スル

モハ既設豊里村ニ編入シ乙地域ニ建設スルモ

ハ八利國村ト稱ス

第二 移民募集ノ数

本年度招致スヘキ移民ハ内地人農業移民

一〇〇ヶ所トス

第三 移民募集

移民ハ本府經營ニ係ル拓土道場修業者内

地(北海道ヲ除ク)及島内ヨリ募集ス

機張全葉野紙

第四 移民應募者並其家族ノ資格條件

(一) 應募者ハ農業ニ經驗アル滿二十歳以上五十五歳未滿ノ男子ニシテ官ノ指定スル期間内ニ家族ト共ニ移住シ得ル者タルコト

(二) 應募者ハ名譽ニ永住スルノ意志強固ニシテ農ヲ專業トシ困苦ニ堪ヘ得ル者タルコト

(三) 應募者ハ素行正シク大酒賭博ノ惡癖ナキ者タルコト

臺灣總督府

(四) 應募者ハ身分不相應ノ負債ヲ有セザルコト

(五) 應募者ハ身体強健ニシテ他人ニ嫌忌セラルベキ疾患ナキ者タルコト

(六) 應募者ノ家族ノ資格及條件ハ前項(一)(二)(三)(四)ト同様トス。應募者ノ主ノ同意ヲ得テ應募者ト同居スル爲移住スル者及各自ノ家庭的事情ニヨリ應募者ニ同伴シテ移住スルノ必要アル者ハ之ヲ應募者ノ家族ト看做ス

(七) 應募者ノ家族ニシテ官ノ指定期間内ニ移住

シ得ガル場合ハ事由ヲ具シ官ノ承認ヲ受ク
バシ

ハ應募者ハ移住地迄ノ移住者全部ノ旅費ヲ
除キ移住當初ノ生産費、營農資金等ニ
充ツル爲メ三ヶ月以上ヲ現金又ハ郵便貯金
ニテ携帶シ得ル者タルコト

第五 移民ノ保護

移民ニ對シテハ大要左ノ保護ヲ與フルモノトス
一 土地割當及拂下

臺灣總督府

- 一 一戸ニ對シ耕地トナルベキ土地ハ甲地域ハ三甲
三分乙地域ハ四甲五分宅地トナルベキ土地ニ
分テ標準トシテ各灣官有森林原野豫
約賣渡規則ニ依リ移民ニ土地割當拂下
ヲナス但シ地味地勢其ノ他ニ依リ多少ノ
増減アルモノトス
- 二 土地ハ三箇年ヲ限リ開墾スルモノトシ其
ノ間貸付料ハ無料トス
- 三 所有權ハ地代金完納ノ日ヲ以テ移轉ス
ルモノトス所有權移轉後ト雖モ十箇年

間ハ官ニ於テ買戻權ヲ留保ス

凶凶作又ハ不時ノ災害ニ備ヘシムル目的ヲ以

テ移民一戸ニ對シ耕地トナルベキ土地五分ノ

割合ニテ共有地ヲ設定シ共同經營ヲナサ

シメ之ヨリ生ズル收益ノ處分ハ別ニ定ムル

移住組合規約ニ依リ之ヲ處理スルモノト

ス

(ハ)土地ノ耕下料ハ開墾費土質生産條件

等ヲ精査ノ上別ニ之ヲ定ム

(ニ)補助金ノ下付

臺灣總督府

官ハ移民一戸ニ對シ移住初年度一回ヲ

限リ左記費目ニ對シ補助金ヲ交付ス

Ⅰ 移民家屋建築費 二一〇〇円

Ⅱ 飲料水施設費 七五円

Ⅲ 農具及役畜購入費 四〇〇円

計 二五七五円

此ノ外ニ移住者ニ對シテ現在地ヨリ移住地迄

ノ官設鐵道、三等汽車賃、五割引証ヲ交

付ス本割引証ニ依リ手荷物及大貨物ハ五

割引トス

第六 移民ニ對スル命令

移民ハ左ノ命令ヲ遵守スルモノトス

第一條 移民ハ官ノ指定スル移住地ニ移住シ
農業ニ從事スベシ

第二條 移民ハ土地ノ割當ヲ受ケタル時ハ直
ニ右ノ官有森林原野豫約賣渡規則ニ依
リ願出フベシ所有權ハ地代金完納ノ日ニ移
轉スルモノトス但シ所有權移轉後ト雖モ十
箇年間に官ニ於テ買戻權ヲ留保ス

臺灣總督府

第三條 移民ハ土地割當後直ニ起業方法ニ
從ヒ開墾ニ着手シ三箇年以内ニ開墾ヲ遂
行スベシ但シ已ムラ得ザル事由ニ依リ右期間
内ニ成功スルコト能ハサル場合ハ事由ヲ具シ
官ノ承認ヲ受クベシ

第四條 官ガ交付シタル補助金ハ其ノ目的以
外ニ使用スルコトヲ得ズ

第五條 押下ヲ受ケタル土地及官ノ補助金ヲ
以テ建設シタル建物其ノ他ノ諸設備ハ官ノ
許可ヲ得スシテ之ヲ讓渡貸與又ハ擔保ノ目

的ニ供スルコトヲ得ス

第六條 移民ハ本命令並ニ之ニ基キ發スル命令ヲ遵守セザルトキ善良ナル風俗ヲ害シ又ハ公安ヲ乱スノ虞アリト認メタルトキ内地人タル品位ヲ毀損シタルトキ及移民トシテ成功ノ見込ナキ者ト認メタルトキハ官ハ之ヲ對スル移民許可ヲ取消シ移民地ヨリ退去セシム

第七條 移民許可ヲ取消サレタル移民ノ割當土地ニシテ豫約賣渡許可中ノモノハ其ノ許可ヲ取消シ返地セシメ所有權移轉セルモノハ買戻權留保中ノモノハ買戻權ヲ行使ス

臺灣總督府

第八條 移民許可ヲ取消サレタル移民ノ家屋其ノ他ノ設備並農具其ノ他ノ物件ニシテ補助金ヲ以テ建設又ハ購入シタルモノハ之ヲ返還セシムルコトアルベシ

第九條 移民許可ヲ取消サレタル移民所有ノ建設物其ノ他ノ物件ハ官ノ指定期間内ニ之ヲ取拂フベシ

指定期間内ニ前項ノ取拂ヲ了セザルトキハ官ハ當該移民費用ヲ以テ之ヲ除去スルコトアルヘシ

第十條 官ハ移民ノ指導保護上必要ト認ル

場合ハ本命令以外ニ命令ヲ發スルコトアルヘシ

第十一條 本命令及之ニ基キテ發スル命令ニ違

反シタル場合ハ補助金ノ全部又ハ一部ヲ返納

セシムルコトアルヘシ 但シ之ニヨリ損害ヲ生ス

ルコトアルモ官ニ於テハ其ノ責ニ任セス

第七 移住許可

官ハ移住應募者ヨリ左ノ書類ヲ添付シタル移住

保護申請書(左記様式)ヲ徴シ更ニ市町村長(或

臺灣總督府

済在住者ニテハ市長郡守)在郷軍人ニ在リテハ更

ニ聯隊区司令官ニ身元調査(左記様式)ヲ依頼

シ且ツ係員ヲ派遣シ直接調査シタル上殖産局長

ニ於テ移住ノ許否ヲ決定ス

移住許可セルモノニ對シテハ移住許可ヲ發シ請書ヲ

徴シタル後官ノ指定スル期間内ニ移住地へ移住セ

シム

イ 市長村長ノ證明アル移住調書(左記様式)

ロ 移住スルモノノ健康診断書(左記様式)

ハ 戸主ノ同意書

四 移住應募者及其家族ノ籍謄本

第八 移民ノ解除及補充

移民ノ解除及補助充ハ殖産局長ニ於テ之ヲ行フ

第九 移民指導

移民ノ全般的指導ハ殖産局配置ノ專任職員ヲシテ之ニ當ラシムモ必要ニ應ジ州郡ノ職員モ亦指導ヲナスモノトス

臺灣總督府

第十 移住組合

移住組合ハ移民ノ共同事務ノ處理並ニ指導ノ便宜ノ爲命令ヲ以テ設立セシメタルモノニシテ移住ヲ許可セラレタル者ハ直チニ本組合ニ加入スルモノトス當分ノ間州産業部長ヲ組合長トス

第十一 村落制及区劃割

移民部落道路上地区劃割ハ別途之ヲ定ム

第十二 移民村土地利用區

移民村ノ土地(移民一〇〇分)利用區分ハ大要左ノ如シ但シ水利施設完成ノ曉ハ利用區分ニ変更アルモノトス

甲地域(三十七分)

田 六〇甲〇分

畑 三九甲〇分

共有地 一五甲〇分

宅地 六甲〇分

道路水路用地及公共用地 二八甲四分

豫備地 一甲六分九厘

臺灣總督府

計

一五〇甲〇分九厘

乙地域(七十七分)

田 七〇甲〇分

畑 二四五甲〇分

共有地 三五甲〇分

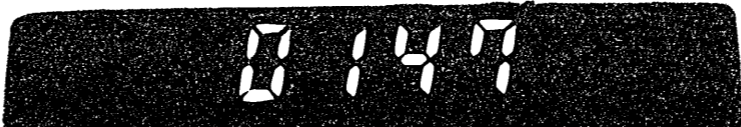
宅地 一四甲〇分

公共建物敷地及共有地 一二甲〇分

除地 三七甲八分

道路水路用地 四六甲五分

豫備地 三甲五分



防風林敷地

二九甲二分

計

四九三甲〇分

第十三 移民ノ農業經營

移民ハ入植後三箇年以内ニ開墾ヲ了シ將來水利施設並ニ防風林完成ノ曉ハ移民一戸當リ毎年左ノ收穫ヲ擧ゲ得ル見込ナリ

甲地域

水稻

四甲步(二甲ノ兩期作)

甘藷

一甲三分(六分五厘年二回)

臺灣總督府

乙地域

落花生其他雜作

一甲三分(六分五厘年二回)

水稻

二甲步(一甲宛年二回)

甘藷

一甲五分(每五甲經營)

甘藷

五分(年一回)

落花生其他雜作

五分(〃)

尚將來更ニ有利ナル經濟作物ヲ採リ入レ右耕種式ヲ變更スルコトアルヘシ

第十四 灌溉排水施設

本地域ノ灌溉排水施設ハ十六年度ヨリ三箇
年経續事業トシテ總工費六八四、〇〇〇円ヲ以
テ目下実施中ナリ

臺灣總督府

義濃全葉野紙

農業移民事業計画書(二五ノ入植)

臺灣總督府

0150

研-0653

第一移民收容地域

尤ノ地域ヲ農業移民收容地域トス

○台中州北斗郡沙山庄濁水溪新生地

約七〇〇甲

本移住地ニ建設スル移民村ハ洲村ト稱ス

第二移民募集戸数

本年度招致スベキ移民ハ内地人農業移民ニ五戸トス
尚昨年度既ニ七五戸入植済ナリ

臺灣總督府

第三移民募集

移民ハ本府經營ニ係ル拓土道場修業者内地(北海
道ヲ除ク)及島内ヨリ募集ス

第四移住應募者其ノ家族ノ資格條件

(一)應募者ハ農業ニ經驗アル滿二十歳以上五十五歳未満

ノ男子ニシテ官ノ指定スル期間内ニ家族ト共ニ移住シ
得ル者タルコト

(二)應募者ハ台湾ニ永住スルノ意志強固ニシテ農ヲ

專業トシ困苦ニ堪ヘ得ル者タルコト

(三)應募者ハ素行正シク大酒賭博等ノ悪癖ナキ者タルコト

(四) 應募者ハ身分不相應ノ負債ヲ有セザルコト

(五) 應募者ハ身体強健ニシテ他人ニ嫌忌セラルベキ疾患ナキ者タルコト

(六) 應募者、家族ノ資格及條件ハ前項(二)(三)(四)(五)ト同様ニ應募者ノ主ノ同意ヲ得テ應募者ト同居スル為移住スル者及各自ノ家庭的事務ニヨリ應募者ニ同伴シテ移住スル、必要ナル者ハ之ヲ應募者ノ家族ト看做ス

(七) 應募者ノ家族ニシテ官ノ指定期間内ニ移住シ得ザル場合ハ事由ヲ具シ官ノ承認ヲ受ケベシ

(八) 應募者ハ移住地迄ノ移住者全部ノ旅費ヲ除キ移住當初ノ生活費營農資金等ニ充ツル為メ三〇日以上ヲ現金又ハ郵便貯金ニ携帯シ得ル者タルコト

臺灣總督府

第五 移民ノ保護

移民ニ對シテハ大要左ノ保護ヲ與フルモノトス

(一) 土地割當及拂下

(イ) 一戸ニ對シ耕種トナルベキ土地ハ甲地域ハ三甲三分乙地域ハ四甲五分宅地トナルベキ土地ニ分テ標準トシテ台灣官有森林原野豫約賣渡規則ニ依リ移民ニ土地割當拂下ヲス但シ地味地勢其他依リ寧ク増減アルモノトス

(四) 土地三箇年ヲ限リ開墾スルモトシ其間貸付料ハ無料トス
(ハ) 地代金ハ開墾後十箇年間ニ無利息等額年賦償還
ノ方法ニ依リ支拂フモノトス

(三) 所有權ハ地代金完納ノ日ヲ以テ移轉スルモノトス
所有權移轉後ト雖モ十箇年間ハ官ニ於テ買戻權
ヲ留保ス

(ホ) 凶作又ハ不時ノ災害ニ備ヘシムル目的ヲ以テ移民一戸ニ對
シ耕地トナルベキ土地五分ノ割合ニテ共有地ヲ設定シ共
同經營ヲナサシメ之ヨリ生ズル收益ノ處分ハ別ニ定ムル
移住組合規約ニ依リ之ヲ處理スルモノトス

臺灣總督府

(ニ) 補助金ノ下付
ニ之ヲ定ム
(ハ) 土地、拂下料、開墾費、土質生産條件等ヲ精査、上別

官ハ移民一戸ニ對シ移住初年度一回ヲ限リ左記費目ニ對
シ補助金ヲ交付ス

- (イ) 移民家屋建築費 一、二〇〇円
- (ロ) 飲料水施設費 五〇円
- (ハ) 農具及役畜購入費 二五〇円

計 〇、一五〇〇円
此ノ外ニ移住者ニ對シテ現在地ヨリ移住地迄ノ官設鉄

道ノ三等汽車賃ノ五割引証ヲ交付ス本割引証依リ手荷物及大貨物ハ五割引トス

第六 移民ニ對スル命令

移民ハ左ノ命令ヲ遵守スルモノトス

第一條 移民ハ官ノ指定スル移住地ニ移住シ農業従事スベシ

第二條 移民ハ土地ノ割當ヲ受ケタル時ハ直ニ臺灣官有森林原野豫約賣渡規定ニ依リ願ハズベシ

所有權ハ地代金完納ノ日ニ移轉スルモノトス

但シ所有權移轉後ト雖モ十箇年向ハ官於テ買

臺灣總督府

戻權ヲ留保ス

第三條 移民ハ土地割後直ニ起業方法ニ從ヒ開墾ニ着手

シ三箇年以内ニ開墾ヲ遂行スベシ但シ已ムラ得ザル事由ニ依リ右期間内ニ成功スルコト能ハザル場合

ハ事由ヲ具シ官ノ承認ヲ受クベシ

第四條 官が交付シタル補助金其目的以外使用スルコト得ス

第五條 拂下ヲ受ケタル土地及官ノ補助金ヲ以テ建設シタル建物其他ノ諸設備ハ官許可ヲ得スニテ之ヲ

讓渡貸與又ハ擔保目的ニ供スルコトヲ得ス

第六條 移民ハ本命令並ニ之ニ基キ発スル命令ヲ遵守セザ

ルトキ善良ナル風俗ヲ害シ又ハ公安ヲ亂スノ虞アリ
ト認めタルトキ内地人タル品位ヲ毀損シタルトキ及
移民トシテ成功ノ見込ナキ者ト認めタルトキハ官ハ
之ニ對スル移住許可ヲ取消シ移住地ヨリ退去セシム
第七條 移住許可ヲ取消サレタル移民ノ割當土地ニシテ豫約
賣渡許可中モハ其ノ許可ヲ取消シ返地セシム
所有權移轉セルモハ買戻權留保中モハ買戻
權ヲ行使ス

第八條 移住許可ヲ取消サレタル移民ノ家屋其他ノ設備
並ニ農具其他ノ物件ニシテ補助金ヲ以テ建設又ハ
購入シタルモノハ之ヲ返還セシムコトアルベシ

臺灣總督府

第九條 移住許可ヲ取消サレタル移民所有建設物其他ノ物件ハ官ノ指定期間内ニ之ヲ取拂フベシ
指定期間内ニ前項ノ取拂ヲ了セザルトキハ官ハ當
該移民費用ヲ以テ之ヲ除去スルコトアルベシ

第十條 官ハ移民指導保護上必要ト認めル場合ハ本
命令以外ニ命令ヲ発スルコトアルベシ

第十一條 本命令及之ニ基キテ発スル命令ニ違反シタル場
合補助金ノ全部又ハ一部ヲ返納セシムコトアル
ルベシ但シ之ニヨリ損害ヲ生スルコトアルモ官於テハ

其ノ責ニ任セス

義讀全集野紙

第七 移住許可

官ハ移住應募者ヨリ左ノ書類ヲ添付シタル移住保護申請書(左記様式)ヲ徴シ更ニ市町村長(台湾在任者ニアリテハ市長郡守)在郷軍人ニ在リテハ更ニ聯隊区司令官ニ身元調査(左記様式)ヲ依頼シ且ツ係員ヲ派遣シ直接調査シタル殖産局長ニ於テ移住ノ許否ヲ決定ス

移住ヲ許可セルモノニ對シテハ移住許可ノ指令ヲ發シ請書ヲ徴シタル後官ノ指定スル期間内ニ移住地ハ移住セシム

臺灣總督府

- 一) 市長村長、證明アル移住調書(左記様式)
- 二) 移住スルモノ、健康診断書()
- 三) 戸主、同意書
- 四) 移住應募者及其ノ家族ノ戸籍謄本

第八 移住ノ解除及補充

移住ノ解除及補充ハ殖産局長ニ於テ之ヲ行フ

第九 移住指導

移住ノ全般的指導ハ殖産局配置ノ專任職員ヲシテ之

ニ當ラシムモ必要ニ應ジ州郡ノ職員モ亦指導ヲナスモノトス

第十 移住組合

移住組合ハ移民ノ共同事務ノ處理並ニ指導ノ便宜ノ爲命令ヲ以テ設立セシメタルモノニシテ移住ヲ許可セラレタル者ハ直ニ本組合ニ加入スルモノトス當分ノ間外産業部長ヲ組合長トス

第十一 村落制及区劃割

臺灣總督府

移民部落道路土地区劃割ハ別途コレヲ定ム

第十二 移民村土地利用区

移民村ノ土地移民百ノ分(七五ノ分植林)利用区分ハ大要左ノ如シ

田 五〇甲

畑 四〇〇甲

共有地 五〇甲

宅地

道路灌漑排水路防風林小學校其他敷地(約)一七〇甲

計

七〇〇甲

第十三 移民ノ農業經營

移民入植後三箇年以内ニ開墾ヲ了シ將來水利施設並ニ防風林完成ノ曉ハ毎年左ノ收穫ヲ擧ケ得ル見込ナリ

水稻

一甲歩

甘藷

一甲歩

落花生其他雜作

一甲歩

甘蔗

一五甲歩

臺灣總督府

尚將來更ニ有利ナル經濟作物ヲ採入シ右耕種式ヲ變更スルコトアルハシ

第十四 灌溉排水施設

本地域ノ灌溉排水施設ハ十六年度ヨリ三々年間ノ継続事業トシテ總ニ事業費六八四、〇〇〇円ヲ以テ實施スルコトナリ目下其ノ準備中ナリ

丙

管種第五八四號

案起 昭和十八年十一月廿六日

主任

管理局長 殖産課長

事務官

案

昭沙年以月/日發送

月	第	第	第	第	第	第	第	第	合
號	號	號	號	號	號	號	號	號	
送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
首題									
一件二箇									
十月十日									
本号									
以下									
及									
依頼									
置									

昭和十八年十一月廿六日

規格 115

研-0653



日	第
第	號
送	送
受	受
月	月
月	月
日	日

注意
 二月廿一日別
 改定係一記才下

候処台湾總督府に於て農業者募集予定戸
 数確保一為貴管下より大中産税及入植
 改定は取極上り有る之が募集二周に格別一即配
 意相煩ふ此段及依頼候也

此中事件不念、為台湾總督府係官、月日項参考
 可致、尚募集締切ハ十二月廿日トシ、之が餘額ハ十九年
 一月上旬より開始改定ハ予定月即金置相成及申
 添候

縣名	獲得予定戸数	巡回日程	備考
鹿兒島	五	十二月三日	
愛媛	一〇	十九日	一二七号報ニテ略述也
高知	一〇	十七日	
徳島	一〇	十五日	
香川	一五	十四日	二月廿日迄一週に及ぶハ、三月三日迄一週に及ぶハ、三月七日迄一週に及ぶハ、三月十日迄一週に及ぶハ、三月十三日迄一週に及ぶハ、三月十六日迄一週に及ぶハ、三月十九日迄一週に及ぶハ、三月廿二日迄一週に及ぶハ、三月廿五日迄一週に及ぶハ、三月廿八日迄一週に及ぶハ、三月三十一日迄一週に及ぶハ、四月一日迄一週に及ぶハ、四月四日迄一週に及ぶハ、四月七日迄一週に及ぶハ、四月十日迄一週に及ぶハ、四月十三日迄一週に及ぶハ、四月十六日迄一週に及ぶハ、四月十九日迄一週に及ぶハ、四月廿二日迄一週に及ぶハ、四月廿五日迄一週に及ぶハ、四月廿八日迄一週に及ぶハ、五月一日迄一週に及ぶハ、五月四日迄一週に及ぶハ、五月七日迄一週に及ぶハ、五月十日迄一週に及ぶハ、五月十三日迄一週に及ぶハ、五月十六日迄一週に及ぶハ、五月十九日迄一週に及ぶハ、五月廿二日迄一週に及ぶハ、五月廿五日迄一週に及ぶハ、五月廿八日迄一週に及ぶハ、六月一日迄一週に及ぶハ、六月四日迄一週に及ぶハ、六月七日迄一週に及ぶハ、六月十日迄一週に及ぶハ、六月十三日迄一週に及ぶハ、六月十六日迄一週に及ぶハ、六月十九日迄一週に及ぶハ、六月廿二日迄一週に及ぶハ、六月廿五日迄一週に及ぶハ、六月廿八日迄一週に及ぶハ、七月一日迄一週に及ぶハ、七月四日迄一週に及ぶハ、七月七日迄一週に及ぶハ、七月十日迄一週に及ぶハ、七月十三日迄一週に及ぶハ、七月十六日迄一週に及ぶハ、七月十九日迄一週に及ぶハ、七月廿二日迄一週に及ぶハ、七月廿五日迄一週に及ぶハ、七月廿八日迄一週に及ぶハ、八月一日迄一週に及ぶハ、八月四日迄一週に及ぶハ、八月七日迄一週に及ぶハ、八月十日迄一週に及ぶハ、八月十三日迄一週に及ぶハ、八月十六日迄一週に及ぶハ、八月十九日迄一週に及ぶハ、八月廿二日迄一週に及ぶハ、八月廿五日迄一週に及ぶハ、八月廿八日迄一週に及ぶハ、九月一日迄一週に及ぶハ、九月四日迄一週に及ぶハ、九月七日迄一週に及ぶハ、九月十日迄一週に及ぶハ、九月十三日迄一週に及ぶハ、九月十六日迄一週に及ぶハ、九月十九日迄一週に及ぶハ、九月廿二日迄一週に及ぶハ、九月廿五日迄一週に及ぶハ、九月廿八日迄一週に及ぶハ、十月一日迄一週に及ぶハ、十月四日迄一週に及ぶハ、十月七日迄一週に及ぶハ、十月十日迄一週に及ぶハ、十月十三日迄一週に及ぶハ、十月十六日迄一週に及ぶハ、十月十九日迄一週に及ぶハ、十月廿二日迄一週に及ぶハ、十月廿五日迄一週に及ぶハ、十月廿八日迄一週に及ぶハ、十一月一日迄一週に及ぶハ、十一月四日迄一週に及ぶハ、十一月七日迄一週に及ぶハ、十一月十日迄一週に及ぶハ、十一月十三日迄一週に及ぶハ、十一月十六日迄一週に及ぶハ、十一月十九日迄一週に及ぶハ、十一月廿二日迄一週に及ぶハ、十一月廿五日迄一週に及ぶハ、十一月廿八日迄一週に及ぶハ、十二月一日迄一週に及ぶハ、十二月四日迄一週に及ぶハ、十二月七日迄一週に及ぶハ、十二月十日迄一週に及ぶハ、十二月十三日迄一週に及ぶハ、十二月十六日迄一週に及ぶハ、十二月十九日迄一週に及ぶハ、十二月廿二日迄一週に及ぶハ、十二月廿五日迄一週に及ぶハ、十二月廿八日迄一週に及ぶハ、一月一日迄一週に及ぶハ、一月四日迄一週に及ぶハ、一月七日迄一週に及ぶハ、一月十日迄一週に及ぶハ、一月十三日迄一週に及ぶハ、一月十六日迄一週に及ぶハ、一月十九日迄一週に及ぶハ、一月廿二日迄一週に及ぶハ、一月廿五日迄一週に及ぶハ、一月廿八日迄一週に及ぶハ、二月一日迄一週に及ぶハ、二月四日迄一週に及ぶハ、二月七日迄一週に及ぶハ、二月十日迄一週に及ぶハ、二月十三日迄一週に及ぶハ、二月十六日迄一週に及ぶハ、二月十九日迄一週に及ぶハ、二月廿二日迄一週に及ぶハ、二月廿五日迄一週に及ぶハ、二月廿八日迄一週に及ぶハ、三月一日迄一週に及ぶハ、三月四日迄一週に及ぶハ、三月七日迄一週に及ぶハ、三月十日迄一週に及ぶハ、三月十三日迄一週に及ぶハ、三月十六日迄一週に及ぶハ、三月十九日迄一週に及ぶハ、三月廿二日迄一週に及ぶハ、三月廿五日迄一週に及ぶハ、三月廿八日迄一週に及ぶハ、四月一日迄一週に及ぶハ、四月四日迄一週に及ぶハ、四月七日迄一週に及ぶハ、四月十日迄一週に及ぶハ、四月十三日迄一週に及ぶハ、四月十六日迄一週に及ぶハ、四月十九日迄一週に及ぶハ、四月廿二日迄一週に及ぶハ、四月廿五日迄一週に及ぶハ、四月廿八日迄一週に及ぶハ、五月一日迄一週に及ぶハ、五月四日迄一週に及ぶハ、五月七日迄一週に及ぶハ、五月十日迄一週に及ぶハ、五月十三日迄一週に及ぶハ、五月十六日迄一週に及ぶハ、五月十九日迄一週に及ぶハ、五月廿二日迄一週に及ぶハ、五月廿五日迄一週に及ぶハ、五月廿八日迄一週に及ぶハ、六月一日迄一週に及ぶハ、六月四日迄一週に及ぶハ、六月七日迄一週に及ぶハ、六月十日迄一週に及ぶハ、六月十三日迄一週に及ぶハ、六月十六日迄一週に及ぶハ、六月十九日迄一週に及ぶハ、六月廿二日迄一週に及ぶハ、六月廿五日迄一週に及ぶハ、六月廿八日迄一週に及ぶハ、七月一日迄一週に及ぶハ、七月四日迄一週に及ぶハ、七月七日迄一週に及ぶハ、七月十日迄一週に及ぶハ、七月十三日迄一週に及ぶハ、七月十六日迄一週に及ぶハ、七月十九日迄一週に及ぶハ、七月廿二日迄一週に及ぶハ、七月廿五日迄一週に及ぶハ、七月廿八日迄一週に及ぶハ、八月一日迄一週に及ぶハ、八月四日迄一週に及ぶハ、八月七日迄一週に及ぶハ、八月十日迄一週に及ぶハ、八月十三日迄一週に及ぶハ、八月十六日迄一週に及ぶハ、八月十九日迄一週に及ぶハ、八月廿二日迄一週に及ぶハ、八月廿五日迄一週に及ぶハ、八月廿八日迄一週に及ぶハ、九月一日迄一週に及ぶハ、九月四日迄一週に及ぶハ、九月七日迄一週に及ぶハ、九月十日迄一週に及ぶハ、九月十三日迄一週に及ぶハ、九月十六日迄一週に及ぶハ、九月十九日迄一週に及ぶハ、九月廿二日迄一週に及ぶハ、九月廿五日迄一週に及ぶハ、九月廿八日迄一週に及ぶハ、十月一日迄一週に及ぶハ、十月四日迄一週に及ぶハ、十月七日迄一週に及ぶハ、十月十日迄一週に及ぶハ、十月十三日迄一週に及ぶハ、十月十六日迄一週に及ぶハ、十月十九日迄一週に及ぶハ、十月廿二日迄一週に及ぶハ、十月廿五日迄一週に及ぶハ、十月廿八日迄一週に及ぶハ、十一月一日迄一週に及ぶハ、十一月四日迄一週に及ぶハ、十一月七日迄一週に及ぶハ、十一月十日迄一週に及ぶハ、十一月十三日迄一週に及ぶハ、十一月十六日迄一週に及ぶハ、十一月十九日迄一週に及ぶハ、十一月廿二日迄一週に及ぶハ、十一月廿五日迄一週に及ぶハ、十一月廿八日迄一週に及ぶハ、十二月一日迄一週に及ぶハ、十二月四日迄一週に及ぶハ、十二月七日迄一週に及ぶハ、十二月十日迄一週に及ぶハ、十二月十三日迄一週に及ぶハ、十二月十六日迄一週に及ぶハ、十二月十九日迄一週に及ぶハ、十二月廿二日迄一週に及ぶハ、十二月廿五日迄一週に及ぶハ、十二月廿八日迄一週に及ぶハ、
岩手	五	十一月三十日	該衛、十九年一月上旬より開始、同月下旬終了
山形	五	十二月二日	該衛員田中技手、大岡崎
郡馬	五	五日	能宮本職能三名ニテ実施
長野	五	七日	
和歌山	一〇	十一日	
香川	一五	十四日	
徳島	一〇	十五日	
高知	一〇	十七日	
愛媛	一〇	十九日	
鹿兒島	五	十二月三日	

移民募集各縣巡回日程

十一月十二日中

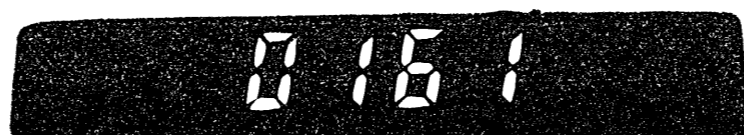
備考



正 一 六			
鷗	鳥	島	熊
山	取	根	本
-	-	六	-
一	二	五	
五	〇	五	
十二月二十五日			
		一	二

鷗取山 (一九二八 鷗取山) 鷗取山 (一九二八 鷗取山) 鷗取山 (一九二八 鷗取山)
 鳥取山 (一九二八 鳥取山) 鳥取山 (一九二八 鳥取山) 鳥取山 (一九二八 鳥取山)
 島根山 (一九二八 島根山) 島根山 (一九二八 島根山) 島根山 (一九二八 島根山)
 熊本山 (一九二八 熊本山) 熊本山 (一九二八 熊本山) 熊本山 (一九二八 熊本山)

研-0653



(折上り 国定規格 B5 (182 × 257 程度))

																		島根	二〇日	十一月中旬=開始			
																		鳥取	一五				
																		徳島	一〇				
																		高松	一〇				
																		長門	一五				
																		和歌山	一〇				
																		島根		不詳			
																		香川	一五				
																		徳島					
																		群島					
																		山口					
																		山形					

大日本帝國政府

807

研-0653

0162

3.10.21

香 川 縣

供 附 見

十八地第三九八號

理事官

昭和十八年十月十九日

殖産課長

作 房

事務官

告

縣

知

事

事

事

事

内務省官埋局長殿

臺灣農業移民募集ニ關スル件

發ニ御甲越ニ係ル首越ノ件十月十二日附縣公報ヲ以テ各市町村長宛通牒
致置候ニ付御了知相成候向全日各地方新聞ニモ廣告致居候ニ付御了知相
成候

名紅ニ。戸控所依頼ニ。大由候記

四國近海に於て神戶寄船。

月 送 受										管 理 局 主 管 及 受 付 日 月	
第 一 號	第 二 號	第 三 號	第 四 號	第 五 號	第 六 號	第 七 號	第 八 號	第 九 號	第 十 號	第 一 號	第 二 號
送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
<p>農業移民募集関係案件</p> <p>臺灣總督府於十、領臺以來島民、皇民化並農業指導、邦、南、東、院、農、林、基、培、農、及、島、民、化、並、農、業</p> <p>熊本、鹿兒島、高知、香川、愛媛、徳島、和歌山、各縣知事宛</p> <p>長野、群馬、山形、鳥取、島根</p> <p>案</p> <p>昭和八年十月一日發送済</p>										<p>管 理 局 長</p> <p>殖 産 課 長 佐 々 木</p> <p>事 務 官</p>	
規 格 B 5										<p>案 起</p> <p>昭和十一年十月七 日</p> <p>主任</p>	

丙

行 月 日

研-0653

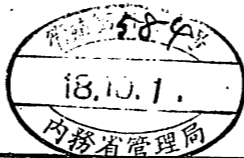
0164

日	第
送受	送受
月	月
日	日

閩省等處資也... 內地人農業移民招致...
 實地... 本年... 移民... 招致...
 農事... 移民... 招致...
 縣募集之際、特、御協力及御便宜御取計相成
 度此段及依頼候也。

研-0653

0155



昭和十八年九月二十七日

臺灣總督府殖産司長 須田 一二三



内務省管理司長 殿

總殖第三一〇五號

農業移民募集ニ關スル件

當府ハ領台以來島民ノ皇民化並ニ農業指導、邦人ノ南方發展ノ根
基培養及ビ本島産業開發等ニ資セシメンガ爲内地人農業移民ノ招
致ヲ實施シ來リ本年度モ右移民約一二五戸ヲ左記縣下ヨリ別紙
臺灣農業移民募集要綱ニ基キ募集致度候
追テハ本件ニ關シ貴省ノ御援助ヲ仰ギ度候條募集縣ニ對シ本府募

臺灣總督府

日本標準規格 B5 (182x257)

集ニ對シ協力方御配意相煩度
右及依頼候也

追而募集縣ニ對シテハ別途當方ヨリ別紙寫ノ通り依頼致置候條
御了承相成度申添候

記

募集各縣

熊本、鹿兒島、高知、香川、愛媛、徳島、和歌山、長野、群
馬、岩手、山形、鳥取、島根、各縣下

臺灣總督府

日本標準規格 B5 (182x257)

昭和十八年十月八日

研-0653

0155

昭和十八年十月

臺灣農業移民募集要綱

臺灣總督府殖産局

研-0653

0167

臺灣農業移民募集要綱

臺灣總督府ニ於テハ農業移民事業ヲ實施中ナルガ今日迄既ニ移民村十五箇村戸數一、六〇〇戸人口八、二〇〇人ノ移住者ヲ見タリ固ヨリ臺灣ハ天惠豊ナルヲ以テ何レモ良好ナル成績ヲ擧ゲツ、アリ
依ツテ本年度ニ於テモ約一〇〇〇戸ヲ移住セシムル爲内地各地方ヨリ左記ノ要綱ニ依リ募集セントス

要綱

一、應募者ノ資格

- 應募者ハ次ノ條件ヲ具備スル者タルコト
 (一) 年齢二十歳以上五十五歳未満ノ男子ニシテ身體強健ナル者タルコト
 (二) 現在自ら農耕ニ従事スル者又ハ農耕ニ充分ノ經驗アル者タルコト 但シ適當ト見認ムル者ハ此ノ限リニ在ラズ
 (三) 有家族者ニシテ家族ト共ニ臺灣ニ永住ノ意志強固ニシテ農ヲ專業トシ困苦ニ堪へ得ル者タルコト
 (四) 移住地迄ノ旅費ヲ除キ三〇〇圓以上ヲ現金又ハ郵便貯金ニテ携帶シ得ル者タルコト

二、應募手續

- 應募者ハ左ノ書類ヲ臺灣總督府殖産局農務課又ハ當該縣廳 課ニ提出スルコト
 移住保護申請書
 移住 調書
 市町村長(在籍軍人ニアラバ)ノ證明アル身元調査書
 戸主及雇主ノ同意書
 應募者並ニ其ノ家族ノ戸籍謄本
 移住スル者(乳兒ヲ除ク)ノ健康診斷書 (右用紙ハ縣廳ニ問合セルコト)

三、募集

- (一) 募集方法
 總督府ヨリ係員出張シ希望者ニ付詮衡ノ上豫選シ之ニ基キ總督府ニ於テ決定通知ス
 (二) 募集ノ時期
 自昭和十八年十月至十二月

四、移住ノ時期

昭和十九年二月中

五、政府ノ保護

- (一) 移住ヲ許可セル者ニ對シテハ左ノ保護ヲ與フルモノトス
 補助金ノ下付
 一戸當ニ、五七五圓ノ補助金ヲ下付ス尙此ノ外移住地迄ノ汽車五割引汽船三割引ノ割引證ヲ交付ス

補助金内譯

家屋建築費	二、一〇〇圓
農具役畜購入費	四〇〇圓
飲料水施設費	七五圓
計	二、五七五圓

(二) 土地ノ賣渡

土地ハ一戸當官有地約四町歩乃至五町歩内外ヲ割當テ其ノ代金ハ十箇年間ニ無利息等額年賦償還ノ方法ニ依リ賣渡スモノトス

六、移住地

移住地ハ臺灣ノ中南部ノ平坦地ニシテ市街(町)ニ近ク衛生状態比較的良好ニシテ交通ハ便利ナリ

七、問合

以上ハ本年度募集ノ大要ヲ記シタルモノナルガ不審ノ點ハ縣廳 課又ハ臺灣總督府殖産局農務課ニ問合スルコト
 以上





昭和十八年九月二十七日

臺灣總督府殖産局長 須田 一二三

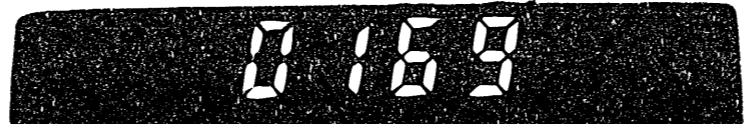
各縣宛

總領第三一〇五號

臺灣農業移民募集ニ關スル件

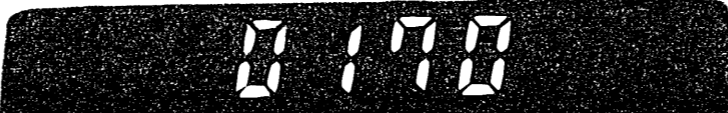
本年度ニ於テ臺灣ニ内地人農業移民約一二五戸ヲ移住セシムルコト
トナリ之ヲ貴縣其ノ他ヨリ別紙臺灣農業移民募集要綱ニ基キ募集致
度候ニ付テハ時局柄誠ニ御多忙中恐縮ニ存シ候得共貴縣下ニ於テ之
ガ宣傳並ニ募集方至急御取計相煩度
尙宣傳並ニ應募用請用紙別途添附致置候條御手配相煩度
右依頼候也

退而九月下旬頃ヨリ十月下旬頃迄ニ當方係員ヲ派遣セシム可ク候
尙別途百圓也支出可致候條右範圍内ニ於テ限リ宣傳募集方御高配
相煩度申添候



月 送 受 及 號 局 議 合									日 月 付 受 及 號 局 警 殖	
第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	第 號	案 起	
送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	送 受	昭 和 十 九 年 八 月 十 五 日	
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	施 行 月 日	
狀 况 別 紙 通 有 之 候 係 申 了 知 相 成 及 此 紙 及 回	合 村 成 使 知 朝 鮮 及 台 湾 之 状 况 知 和 大 軍 公 本 林 業 給	首 題 一 件 之 周 之 一 育 三 十 七 日 附 一 九 山 第 四 五 號 以 下 申 照	和 大 軍 公 本 林 業 給 状 况 調 査 之 周 之 一 件	農 商 省 山 林 局 長 宛	案	昭 和 十 九 年 八 月 十 五 日 發 送 濟	殖 産 課 長 加 藤	管 理 局 長	要 後 園	主 任

研-0653



337
9.8.11
内務省管理局

472

林乙第一五八九號

昭和十九年八月七日

内務省管理局長

朝鮮總督府 鑛工局 殿



朝鮮總督府

昭和三十八年度木材需給狀況調査ニ關スル件

六月二日附管植第三三七號ヲ以テ御照會ノ件別紙ノ通ニ付御了知アリタシ

日本標準規格 B5 (182x257mm)

(谷岡 納)

研-0653

0172

工用	船	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	内		外		合計	備	計		
												山	島	山	島					
船	甲	乙	丙	丁	戊	己	庚	辛	壬	癸	山	島	山	島	山	島	山	島	山	島
...

昭和十八年度木村帯給状沈調(昭和十八年度) 昭和十八年度木村帯給状沈調(昭和十八年度) 昭和十八年度木村帯給状沈調(昭和十八年度)

4 = 50



大日本帝國政府

電報譯文 (一七七八)

朝鮮 鉉工局長

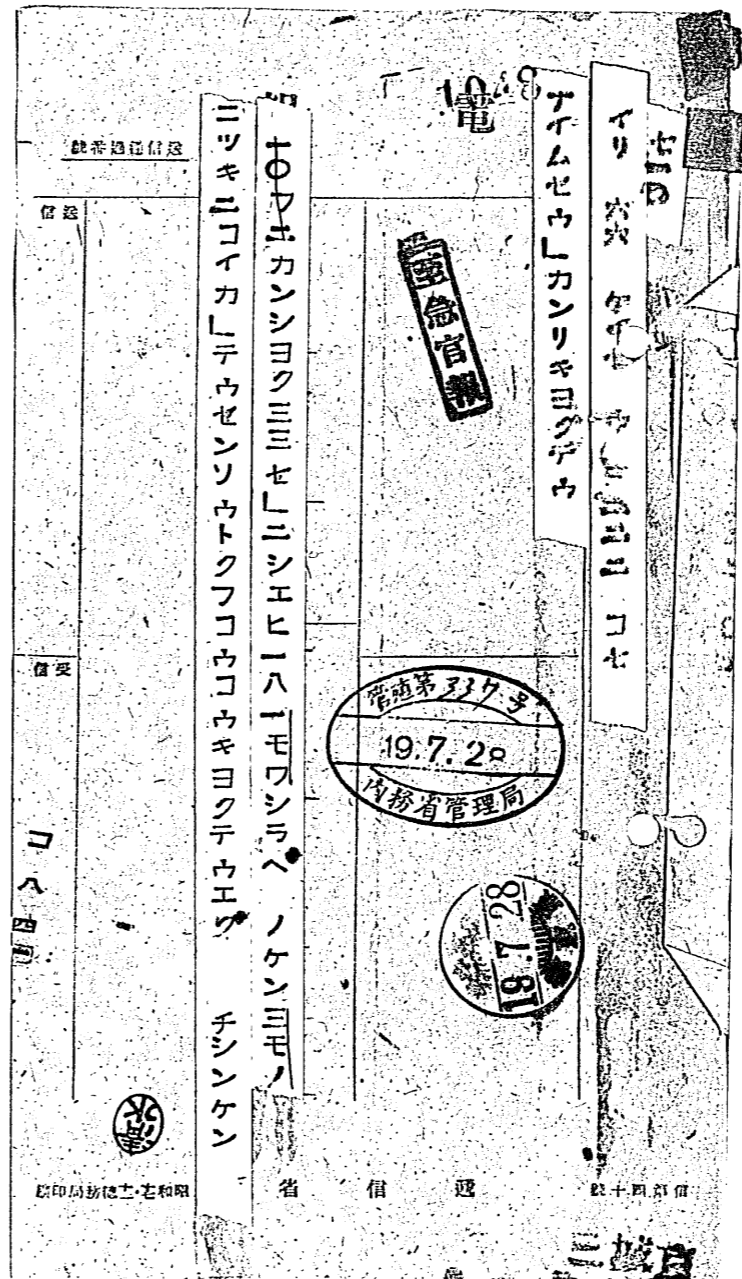
管理局長宛

管轄三七〇昭和十八年度木材需給状況調査ノ件目下調査中ニ付
キ馬了知アリタシ

（國定規格B5二ハ×二五七種）

研-0653

0174



研-0653

0175

丙

管理第三三三號

案起

昭和十九年六月二十四日

主任



管理局長

殖産課長

事務官

昭和十九年七月二十四日發送済

案(取込)

殖産課長

山林課長

昭和十八年木我敷給状及調査之周知件

首題件(周知)山林課九四九號、即回報相成

知右欄書中針葉樹一部中左記、道該記有之

被認候係至急再報、即回報相成及

事務官

規格 1.5

研-0653

0175

第	第
號	號
送	送
月	月
月	月
日	日

照会候也

記

一、(一) 四合科バルゴノ欄「一〇五〇」軍用ノ欄
 「三九」・「四」ヲカト認ナリ

二、(一) 型軍公繰送各欄「左記」カト認ナリ

土建用 一三三七

船舶用 一〇〇〇

枕木 一三三七

電柱 一〇〇〇

警備用 一〇五〇

軍用 一三三七

軍用 一

研-0653



管植第 227 号
19.7.20
内務省管理局

昭和十九年七月十五日

臺灣總督府農商局長

須田 一二三

内務省管理局長殿

山産第九四九號

昭和十八年度木材需給状況調査ニ關スル件

昭和十九年六月一日附管植第三三七號ヲ以テ御照會有之候首題ノ件

別表ノ通ニ有之候條

右 回 答 ス

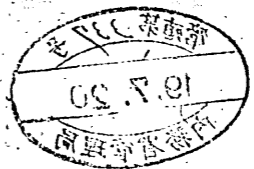


臺灣總督府

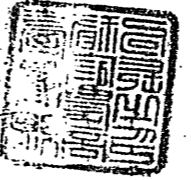
日本標準規格 B5 (182×257)

研-0653

0178



内務省管内事務
 昭和十一年十月十五日
 東京
 一三三
 日本郵政省
 東京
 一三三



11248
 89
 21781

研-0653



第237号
19.8.7
内務省管理司

昭和十九年八月三日

臺灣總督府農商局山林課長 加藤重



内務省管理局殖産課長 殿

山政第九四九號

昭和十八年度木材需給狀況調査ニ關スル件

昭和十九年七月二十四日附管殖第三三七號ヲ以テ御照會ニ係ル首題ノ件別紙ノ通ニ付

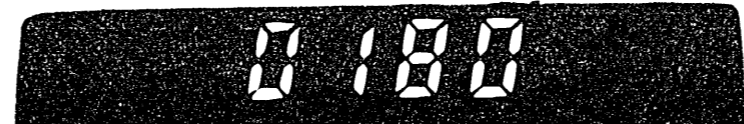
右及回答候也

臺灣總督府

日本標準規格 B5 (182x257)

昭和十八年十月五日發給

研-0653



合計 釘	八 製 鐵 釘	七 杉 出 釘	六 輸 出 釘	其 他 釘	軍 需 釘	五 消 費 釘
一 六 九	一 三 七	一 八		一 五 四	一 四 〇	一 五 五
三 五 三	一 六 〇			二 六 三		二 六 三
八 八				八 八		八 八
一 四 五	一 六 三			一 八 二		一 八 二
五 四 〇	一 四 四			一 五 六		一 五 六
七 五				七 五		七 五
一 四 五				一 四 五		一 四 五
五 六 〇				五 六 〇		五 六 〇
一 二 六	一 三 九			八 七		八 七
三 九 四					三 九 四	三 九 四
一 三 五 三	一 四 三	一 八		一 七 五 一 八	一 四 〇 四	一 三 九 二
					一 四 〇 四 軍 需 指 定 使 用 通 シ	

臺灣總督府

美濃全葉野紙

研-0653

0182

潤葉樹

計	移入 廣島	内 若手	記 青森	回 移入量	三 輸入量	生 産量	前年 比		用途別	
							増	減	航空機	陸路
八五						八五				
四四六						三五六〇				王木建
三〇						三〇				船舶用
六二						五〇				車輛用
三七〇						三三〇				坑木
一九三五	一三三	一四二	二六	一九一		一四四				枕木
										電柱
六九三						五四三				枕木
										合板
六五						一六〇				其他
三七七						二四九				計
四八五						三三七				合板
						二五四				摘
										要

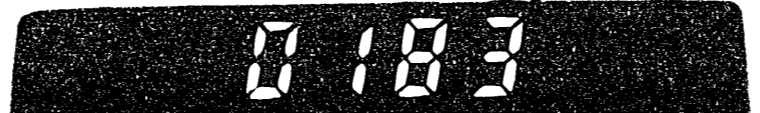
計	八 翌年 繰越	七 移出量	六 輸出量	其 他	單 需	五 消費量
四四六	八五六			一七五八	八三二	三五九〇
三〇				一三〇		一三〇
六二	七〇			五五		五五
三七〇	三〇			三五〇		三五〇
一九三五	五〇			二六〇	六三五	七八五
六九三	一三〇			五七三		五七三
六五				六五		六五
三七七	六〇六			三七一	三〇	三〇七
四八五	一八九九			一〇五二	二九二	二九五四
				二五〇		二五〇

備考一、本表ハ統計取纏中ニシテ詳細不明ナルモノハ概數トス
二、消費中單需ノ内訳ハ不明ノモノハ推定ニ依ル

臺灣總督府

美濃全葉野紙

昭和十六年十月発行



合計針	山口針	長門針	宮崎針	大分針	愛媛針	徳島針	秘廣島針	入奈良針	内叡山針	兵庫針	大阪針	変知針	岩手針	青森針	内訖	四移入量針	輸入量針	生産量針	前年比	前年比	針葉樹	
																					航空機用	土木建築用
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	航空機用	土木建築用
六〇九	1	四五二	三〇九	二九七	三五八	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	三六	1	四〇五	1	二〇	航空機用	土木建築用
三四三	1	〇三	一〇五	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	一〇八	1	一四三	1	九三	船舶用	車輛用
八八	1	三三	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	八八	1	1	坑木	枕木
三〇〇	六九	三三	1	1	1	1	六四	1	1	1	1	1	1	1	1	三六	1	〇四	1	七四	枕木	電柱
五〇〇	1	1	1	1	1	1	二一	1	1	1	1	1	1	四九〇	1	五〇一	1	三九	1	二五	枕木	電柱
七五	1	1	1	1	1	1	五〇	1	1	1	1	1	1	1	1	五〇	1	1	1	二五	枕木	電柱
二四	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	一四	1	1	枕木	電柱
一三	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	一〇五	1	1	枕木	電柱
五三〇	1	1	1	1	1	1	1	1	1	一六九	三〇	一五〇	1	1	1	五三〇	1	1	1	1	合板	其他
一三六	1	1	1	1	1	1	1	三九	六二	一〇	1	一〇二	1	1	1	一三六	1	1	1	1	合板	其他
三九六	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	三九六	1	1	合板	其他
三三〇	一六九	四九八	三三四	三〇一	三五八	1	一三五	三九	六一	一〇	二四一〇	一五〇	四九〇	1	三三六	1	1	三三〇	1	一〇九	計	摘要

臺灣總督府

美濃全業野紙

昭和十六年十月光復此紙

研-0653

0184

合計 針	八 種 針	七 秒 針	大 輪 針	其 他 針	軍 需 針	五 項 針
	一	一	一	一	一	一
	二九六	一八	一	五三四	四〇	五五四
	一	一	一	三三	一	三三
	一	一	一	八八	一	八八
	六三	一	一	二二	一	三三
	四	一	一	八七	一	八七
	一〇	一	一	七二	一	七二
	一	一	一	一四	一	一四
	一〇	一	一	一	一	一
	一	一	一	五三〇	一	五三〇
	四六	一	一	八七	一	八七
	七三六	一	一	一	三九四	三九四
	三七六	一八	一	五五	四〇	三五九

臺灣總督府

美濃全葉野紙

昭和十六年十月

研-0653

0185

月 送 受 及 號 局 議 合									日月付受及號局管主	
第	第	第	第	第	第	第	第	第		
號	號	號	號	號	號	號	號	號		
送	送	送	送	送	送	送	送	送		
月	月	月	月	月	月	月	月	月		
日	日	日	日	日	日	日	日	日		
									案起	
									昭和十九年 七月 二十一日	
									主任	
									局長	
									殖産課 長 佐々 昭十九年七月二十日發送済	
									事務官	
									要 報 案	
									管理局長	
									朝 報 工 局 長 宛	
									一ロフニ	
									六月三日付 本号の四号 巡回会誌 昭和十八年六月 木村 野 給 状	
									况 調査 1 件 至 急 回 報 了 り たい	

丙

三三三

研-0653

0185

月送受及號局議合									日月付受及號局管主	
第	第	第	第	第	第	第	第	第		
號	號	號	號	號	號	號	號	號		
送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受		
月	月	月	月	月	月	月	月	月		
日	日	日	日	日	日	日	日	日		
				朝鮮 農商局長					局長 殖産課長	主任
				台灣 農商局長						
				昭 和 十 八 年 木 材 需 給 狀 況 調 査						
				昭 和 十 九 年 六 月 二十九 日 發送 済						
				電 報 案						
				管 理 局 長						

規 格 B 5

研-0653

0187

日	
第	第
號	號
送受	送受
月	月
日	日

件、到急田報アリ

省

研-0653



丙

管殖第 三三三 號

昭和十九年 六月 一日

主任

管理局長

殖産課長不在

昭十九年六月二日發送済

事務官

栗

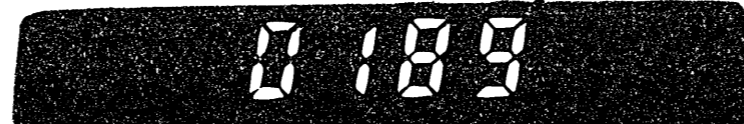
管理局長

合議局號及受送月									管殖第 三三三 號
第	第	第	第	第	第	第	第	第	
號	號	號	號	號	號	號	號	號	
送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	
月	月	月	月	月	月	月	月	月	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	

昭和十八年木伐需給状況調査ニ関スル件
 首題件ニ関シ今般農商省山林局長ヨリ内示
 地及日商支洞ノ木伐需給ニ係ル者ニ及趣ヲ以テ
 朝鮮 鉱工局長
 臺灣 農商局長
 (航空便)

規格 B5

研-0653



日	第	第
送	送	送
受	受	受
月	月	月
月	月	月
日	日	日
日	日	日

内務省

昭和十八年三月十日
 京都府 依願
 相成候條別紙様式ニ依リ調査ト至急申回報
 相成候此致及照會候也

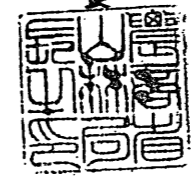
別紙添附

337
9.5.31

一九山第四六四五號

昭和十九年五月二十八日

農商省 山林局長



内務省管理局長殿

昭和十八年度滿洲・外地ノ木材需給狀況調査ニ關スル件
内地及日滿支間ノ木材需給ノ参考ニ資度候條昭和十八年度ニ於ケル
貴局關係ノ分ヲ左記様式ニヨリ御調査ノ上至急報告相煩度此段及依頼
候也

大東亞省 滿洲 南洋群島
内務省 朝鮮 臺灣

農 林 省

日本標準規格 市一(昭和 591)

研-0653



用途	前年	越	生産量	輸入量	都府縣	移入量	都府縣	合計	軍消費量	其他	輸出量	都府縣	移出量	都府縣	翌年	合計	註
航空機																	註 一、数量ハ丸太換算材積ニシテ百石以下四捨五入シ記入ノコト 二、但シ合板ニアリテハ千平方尺ヲ單位トス 三、輸移出入欄ノ「」欄ニハ具詳的ニソノ輸移出入先ヲ記入スルコト
土木建築用																	
船舶用																	
車輻用																	
玩具																	
木枕																	
電柱																	
丸太																	
ヘルプ																	
合板																	
其他																	
合計																	

日本標準規格 B-4 (東京 591)

農
林
省

研-0653

0192

一 部 軍 資 材

ニ 林 業 及 木 材 ノ 需 給
朝鮮

朝鮮ニ於テハ林野面積ハ約一千六百万町歩ニシテ全面積ノ七割三分ヲ占メ其ノ蓄積量ハ約八億一千万石ニ達ス林野面積中立木地ハ約一千五百五十万町歩ニシテ林相ノ見ルベキモノハ鴨綠江、豆滿江ノ流域及脊梁山脈ニ編在シアリ其ノ他ノ四百八十万町歩ハ散生地又ハ未立木地ニシテ未ダ荒廢セルモノ多シ

木材ノ生産ニ付テハ華変以來軍需並ニ航空工業用等ノ需量増加ニ對應シ森林ノ伐採ハ漸次増大シ昭和十三年度四十七万石ナリシ伐採量ハ昭和十七年度ニ於テハ五千二百万石(用材二千二百万石、薪炭材三千万石)トナリ之ヲ標準年伐量タル三千八百万石(用材

一千二百万石、薪炭材二千六百万石)ニ比スレバ一千四百万石ノ過伐ノ状態ニ在リ用材ノ需量ハ華変以來約四割ノ増加ヲ見タリ即チ昭和十三年約二千五百万石ノ需量ハ昭和十六年ニ於テハ約二千九百万石ニ及ビ当該年度ノ生産量(二千二百万石)ヲ以テハ之ヲ賚ル得ズ約七百五十万石(丸太換算約三百五十万石)ヲ内地ヨリ移入シ需給ノ均衡ヲ得タリ昭和十七年度以降ニ於テハ内地ノ木材率極端ニ輸送上ノ關係ヨリ之ニ依存スルコト困難トナリ鮮内ノ木材需給状況ハ甚ダシク逼迫ノ傾向ニ在ルニ極力鮮内木材ノ増産ニ努ムル外ニ他面用材配給ノ重炭化ヲ因リ以テ需給調整ノ萬全ヲ期シソアリ



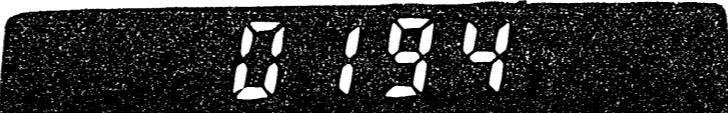
台湾

台湾ニ於ケル林野面積ハ約二百三十万町歩ニシテ至面積ノ約六割五分ヲ占メ其ノ蓄積量ハ七億四千万石ナリ 台湾ノ林野ハ概テ國有林野ニシテ面積ニ於テ約九割 蓄積ニ於テ約八割五分ヲ占ム

台湾ニ於ケル最モ有用ナル林木ハ檜、ベニ、杉、針葉樹ニシテ其ノ分布ハ概テ高山地帯ナレドモ阿里山ヲ初トシテ夙ニ開墾利用セラレ特ニ事変以來艦艇用材、航空機用材トシテ多量ニ利用セラレ又蓄積量ノ過半ヲ占ムル潤葉樹モ近時脈工用、土建用等トシテ広ク利用セラレツアリ 森林伐採量ハ

昭和十三年度四百八十万石(用材三百三十万石、薪炭材二百五十万石)ナリシモノガ昭和十一年度ニ於テ八百七十万石(用材三百七十万石、薪炭材三百万石)ニ達セリ、

台湾ニ於テハ従来ヨリ檜、ベニ、杉、特産材(北木十二、三万石)ヲ内地ニ移出シ一級用材、豊産育ヲ内地ヨリ移入シ居リ其ノ數量ニ需要量ノ概テ六割乃至七割(需要量九千三百万石ニ対シ内地移入百九十万石)ニ及ヘルモ事変以後ハ需要、生産用等ノ需要激増(北木七、八十万石)ノ反面内地材ノ輸送困難トナレル故島産材ノ増産ヲ極力行ヒ供給ノ均衡ヲ保持シ居ル実情ナリ



参考

昭和十七年度内地外地ニ於ケル用材需給状況

(単位丸太千石)

生産量	移入量	輸入量	前年増減量	移出量	輸出量	翌年持越量		差引需給量
						計	計	
内地	八六、九〇四	一〇、八八九	二、九六六	三、〇八五	一、六〇〇	二、八一〇	二、七〇八	一、〇九二
朝鮮	一〇、五五六	一、八三八	三、六四三	一、六	四六	二、四二六	二、四八八	二、九四二
台湾	二〇、二九	四九四	六六二	三、一八五	六二	一八一	二、四三	二、九四二
内地ハ樟太ヲ除ク								

月送受及號局議合	日月付受及號局	第 五 號
第 第 第 第 第 第 第 第		丙
號 號 號 號 號 號 號 號		
送受 送受 送受 送受 送受 送受 送受 送受		
月 月 月 月 月 月 月 月		
日 日 日 日 日 日 日 日		
<p>或心省題一件 朝鮮及台灣合別紙一通</p> <p>用我幣收狀況調查一年</p> <p>農商省山林局長宛</p> <p>管理局長</p> <p>案</p> <p>技師</p> <p>事務官</p> <p>昭十九年一月廿一日</p>	<p>管理局長</p> <p>殖産課長</p> <p>主任</p>	<p>案起</p> <p>昭和十九年一月十一日</p> <p>主任</p>

研-0653

0195

日	第
送	號
月	送
日	月
	日

了知相成 回答ス

日 承 行

備考

別紙添附

台帳 昭和十八年六月二十八日 台帳 山本 櫻 氏 宛 書 信 付 送
申出 了 知 相 成 氏 宛

研-0653

0197

別紙

用材需給状況圖 (朝鮮) (單位石)

大日本帝國政府

生産量	昭和十六年度(實績)		昭和十七年度(實績)	
	計	測	計	測
10K4T9D<	20T9KK	1T9Z9D9D	2<4K410	104K190
7000P99	90K9999	7700P9999	7K99999	7<9P9<4
14P919	1K9999	1P99999	1K991	1<K919
900K1K9	4K9019	90001P9<	9999991	9K99991
1K91K99	771<90<	1<19999<4	100K9990	1K99999<
10K9KK	9KK	11<K9	9999PK	9999
1T90K	9019	19990	9KK9	1991<
99999910	44001	9999991	999999PK	999999
			1K9940	999999K

大日本帝國政府

生産量	昭和十八年度(見込)		昭和十九年度(見込)	
	計	測	計	測
200T999	K1P901	2<1<999	2K9K<40	K99190
199000	9000	19<000	197000	9000
90000	-	49000	49000	-
999999K	1K9<40	991K99K	-	-
10K<9K9K	9K9191	1P99<000	21K9<40	K20T140
				2<2P<000

計	計	計	計
9909K99	4K911	9999109	99T0999
19110K<4	7140999	199K91<1	1P999991
			9K990
			9K999K
			9K9999
			9K9999



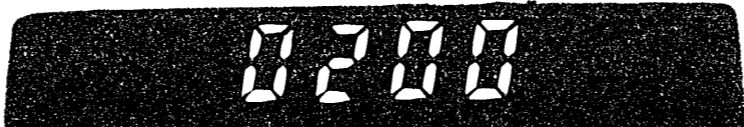
大日本帝國政府

在荷 本年 末	輸出 量	移出 量	計	前 年 末 在 荷 量	輸 入 量	移 入 量	生 産 量	昭和十八年度(見込)		昭和十九年度(見込)	
								針	濁	針	濁
			117000	117000		120000	277000				
			107000	107000			100000				
			174000	174000		120000	127000				
			114000	114000			220000				
			210000	210000			210000				
			120000	120000			120000				

大日本帝國政府

計	差 引	差 引	差 引	差 引	差 引
117000					
107000					
174000					
114000					
210000					
120000					

備考 昭和十九年度ニ於ケル總需要見込量ハ四六九三千石ニ上ルモ極力之ヲ壓縮ノ結果配給量ヲ三二二一千石ト計盩セルモ尚ニ六〇千石程度不足スルモノトス



管理第 5
19. 1. 17
内務省管理司

林産乙第二〇二號

昭和十八年十二月三十一日

内務省管理局長 殿

朝鮮總督府 鑄工局



用材需給状況調査ニ關スル件
(對十二月十四日附管殖第七二三號)
對號御來照ノ件別紙ノ趣回答ス

朝鮮總督府

日本標準規格 B5 (182×257mm)

(谷岡 精)

研-0653

0201

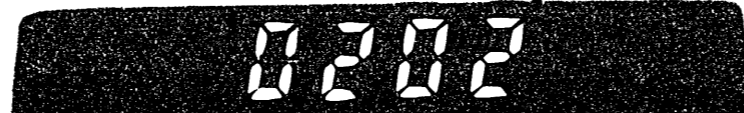
需要量	針	在貯量	本年平 在貯量	輸 出量	移 出量	計	在貯量	輸 入量	移 入量	生産量 (消費)	針	調 計	針	調 計	針	調 計	針	調 計	
三三、九六〇	五、五七〇	三、七四〇	三、七四〇	二、五八〇	一、九二〇	四、八六〇	三、七四〇	一、九二〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇
三三、九六〇	五、五七〇	三、七四〇	三、七四〇	二、五八〇	一、九二〇	四、八六〇	三、七四〇	一、九二〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇
三三、九六〇	五、五七〇	三、七四〇	三、七四〇	二、五八〇	一、九二〇	四、八六〇	三、七四〇	一、九二〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇
三三、九六〇	五、五七〇	三、七四〇	三、七四〇	二、五八〇	一、九二〇	四、八六〇	三、七四〇	一、九二〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇
三三、九六〇	五、五七〇	三、七四〇	三、七四〇	二、五八〇	一、九二〇	四、八六〇	三、七四〇	一、九二〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇
三三、九六〇	五、五七〇	三、七四〇	三、七四〇	二、五八〇	一、九二〇	四、八六〇	三、七四〇	一、九二〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇
三三、九六〇	五、五七〇	三、七四〇	三、七四〇	二、五八〇	一、九二〇	四、八六〇	三、七四〇	一、九二〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇
三三、九六〇	五、五七〇	三、七四〇	三、七四〇	二、五八〇	一、九二〇	四、八六〇	三、七四〇	一、九二〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇
三三、九六〇	五、五七〇	三、七四〇	三、七四〇	二、五八〇	一、九二〇	四、八六〇	三、七四〇	一、九二〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇
三三、九六〇	五、五七〇	三、七四〇	三、七四〇	二、五八〇	一、九二〇	四、八六〇	三、七四〇	一、九二〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇	三、七四〇

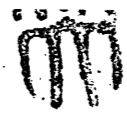
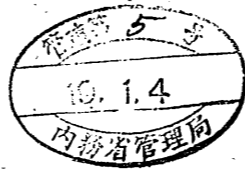
朝鮮總督府

備考

一、單位 石トス
 二、材積ハ素材換算材積トス
 三、針調区分ハ推定トス
 四、昭和十八十九年度ニ於テ凡差列欄ハ配給見込量トシテ
 實際ノ需要量ハ昭和十八十九年度共ニ三千三百萬
 石トス

(昭和十九年)





昭和十八年十二月三十一日

臺灣總督府農商局長 須田 一二



內務省管理局長殿

農山部七三號

用材需給狀況調査ニ關スル件

昭和十八年十二月十四日附管殖第七二三號ヲ以テ照會ニ係ル首題ノ件別紙ノ通及回答候也

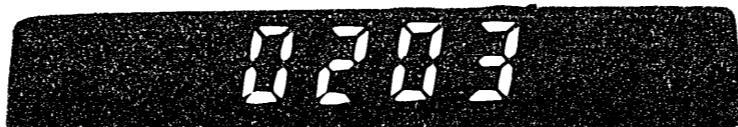
追而昭和十六年度ヨリ會計年度ニ依リ調査セル爲歷年算出困難ニ付年度ニ依リ調査作製候條爲念申添候

臺灣總督府

日本標準規格 B5 (182x257)

昭和十八年十二月三十一日

研-0653



先 計	本年 末 在 荷 量	輸 出 量	移 出 量	前 年 末 在 荷 量	輸 入 量	移 入 量	生 産 量	昭和六年度(実績)		昭和七年度(実績)		昭和八年度(見込)		昭和九年度(見込)	
								針	計	針	計	針	計	針	計
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500

昭和六年度(実績) 昭和七年度(実績) 昭和八年度(見込) 昭和九年度(見込)

先 計	本年 末 在 荷 量	輸 出 量	移 出 量	前 年 末 在 荷 量	輸 入 量	移 入 量	生 産 量	昭和六年度(実績)		昭和七年度(実績)		昭和八年度(見込)		昭和九年度(見込)	
								針	計	針	計	針	計	針	計
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500
5,536	4,500	3,788	8,746	6,403	4,905	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500

昭和六年度(実績) 昭和七年度(実績) 昭和八年度(見込) 昭和九年度(見込)



丙

施行 月 日

案起 昭和十八年十一月廿九日

主任

管理局長

殖産課長 佐々

事務官

技師 昭18年12月30日發送済

電報

局長

朝鮮 弘工局長 宛

台湾 農務局長

急回教了り及
上付上等以照念用我輩此状况調査一件
三三ノ

日務官

月送受及號局議合									日月付受及號局管主	
第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	
號	號	號	號	號	號	號	號	號	號	
送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	送受	
月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	
									第 七 三 號	

規格 B5

研-0653

0205

丙

第 七 三 號

案 起

昭和十八年十二月八日

主任

局長

殖産課長

事務官

技師

案

管理局長

朝鮮、庭工局長

台灣農商局長

(航運便)

用我署給狀以調查一箇中

今般農商省山林局長ヨリ國內一用我署給

合 議 局 號 及 受 送 月								管 理 局 號 及 受 送 月	
第 一	第 二	第 三	第 四	第 五	第 六	第 七	第 八	第 九	第 十
號 送	號 送	號 送	號 送	號 送	號 送	號 送	號 送	號 送	號 送
月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日

規 格 B 5

研-0653

0206

日	第
第	第
號	號
送受	送受
月	月
日	日

計画上等果有之、貴管下之状況用表需結状況
 調査方針有之、別紙様式にて報告
 日迄申回報相成之
 報告書等係成上

別紙添附

研-0653

0207